

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

<学校教育目標>

これからの社会をたくましく生きる力を持つ生徒の育成

敦賀市「知・徳・体」充実プラン

勉強して考える力
内面を豊かにする力
たくましく生きる力
人と協働する力

めざす生徒像

大きくなろう (広く豊かな心と知性のある生徒) 強くなろう (強靱な身体と精神を持つ生徒) 幸福になろう (夢や希望を持ち、その実現に向かう生徒)

重点目標

未来に向けて協働し 共生する社会力の育成

- ◎互いを尊重し高め合う集団づくり
- 個の力の向上を集団に繋げる
- 「出口指導から未来展望へ」進路学習の転換

未来につながる 総合的な学力の充実

- ◎主体的・対話的で深い学びを具現する授業実践
- 知識・理解・技能の確実な定着
- 「学びに向かう力」の育成

未来を生き抜く 心身の安全と健康の増進

- ◎いのちを守り尊ぶ生き方への共感
- 心と体の安全、安定の実現
- 青年前期の健全な心身の発達に 相応しい生活習慣の獲得

地域社会と共に進める 未来に開かれた学校づくり

- ◎地区4小中学校による連携の推進
- 地域と共に進める伝統文化行事への参加と継承
- 地域の人材、教育資源の活用

具体的な取組

☆定期アンケート、計画的かつ随時の面談、スクールカウンセラーの活用、生徒と接する場と時間の確保により生徒理解を深め、いじめ、不登校など学校生活上の問題を早期に把握し解消に導く。

☆福井教育総合研究所と連携した「ポジティブ教育」(ピアサポート、ソーシャルスキルトレーニング)等を統合し「折れない心」を育てる取組)の実践による魅力ある学校づくりを推進する。

☆より具体的かつ現実的な夢や目標の実現のため将来にわたって学び続ける意思と意欲を育てるキャリア教育を実践する。

☆意図的計画的な人権教育を通し共生社会の実現に向けた人権意識の高揚をめざす。

☆学びを振り返り次に繋げる時間を各授業または小单元ごとに確保し、かつ50分で完結する授業展開の定着と深化、充実を図る。

☆朝学習、家庭学習と連動した5教科のコンテストを年間を通して計画的に実施し知識・理解・技能の十分な定着をめざす。

☆小中一貫教育に基づく校区小中4校での連携推進、共通実践と敦賀市小中一貫カリキュラムの実践による円滑な小中接続と学力の充実を図る。

☆家庭と学校との連携協力により家庭学習の定着と充実をめざす。

☆学級毎の学校図書館訪問日設定と学級文庫の充実を通し、読書で学び読書を楽しむ学校文化の醸成を図る。

☆特別の教科道徳を柱とした学校の教育活動全体を通して自他の生命を尊重し生きる喜びを知り、認め合う集団づくりと人格形成、人権意識の高揚をめざす。

☆校区内の幼小中が連携した避難訓練や交通安全指導また感染症予防の意識高揚と実践推進により、総合的なリスク回避能力の向上をめざす。

☆ネットモラルに関する知識、理解の充実とノーメディアデー運動等の取組によりSNSに関する自己管理能力の向上をめざす。

☆体育実技、体育部活動の適切な実施、保健体育、保健指導の計画的実施を通して健康で頑強な身体づくりを推進する。

☆諸団体の協力を得て地域の伝統文化行事(つるが祭り山車巡行や夷子大黒綱引き)に参画し、実体験を通した郷土愛の醸成を図る。

☆学校ホームページの日常的計画的な更新、学校だよりの公共施設揭示、地区回覧等により、地域全体に本校の教育活動を広報する。

☆地区4小中学校による合同研究組織による小小、小中連携による弱点克服、中1ギャップ解消の取組を継続し発展させる。

☆小中一貫校設立に向けて各校が協働し、区長会等地域の諸団体に理解と協力を仰ぎ、スムーズなPTA統合や心に残る記念行事の計画等を推進する。

成果指標

- ◎いじめ解消率100%と不登校新規発生率の県平均以下(ゼロ目標)
- ◎「将来の目標がある」回答80%以上

- ◎SASA2019での県平均レベル達成3教科以上
- ◎図書貸出数1人8冊以上<目標10冊>

- ◎体力テストでの弱点改善(シャトルの県平均達成3集団以上)
- ◎う歯治療率60%以上

- ◎学校だより発行年間10回以上
- ◎全校生徒が年間1回以上、地域のボランティア活動に参加。